

# ちょっといい話

今回のコムニだよりでは今年、大流行しているノロウイルスのお話をさせていただきます。ノロウイルスに汚染された飲用水、食品（特に2枚貝）等が感染源となり、感染した方の便や嘔吐物からウイルスが飛散し感染が広がっていきます。

24～48時間程の潜伏期間で症状としては、吐き気、嘔吐、下痢、発熱が主症状となり、症状が見られた時は病院を受診し、検査を行って結果が陽性であれば「ノロウイルスによる感染性胃腸炎」と診断されます。症状が治まるまで脱水症状に注意し、体力を消耗したりしないように十分に水分と栄養補給を行い安静にして下さい。通常は2～3日で症状は治まります。看病する家族も感染に注意し嘔吐物、糞便に触れた後は手洗いを正しくキッチンで行い、使用した物やウイルスで汚染された箇所は次亜塩素酸ナトリウムで消毒を行って下さい。消毒は台所用の次亜塩素系の漂白剤（ハイター等）を水5ℓに対して50ml（キャップ2杯）入れて希釈して使用します。また、まな板、食器、ふきんは熱湯（85℃以上）で1分以上の加熱が必要です。個人差がありますが、1日～7日程度症状が続き、症状が治まってもウイルスは1ヶ月程度、排泄されていますので感染に注意が必要です。

まだまだ感染の拡大が予想されており、人が多い場所に出かける時には注意し、自宅に戻った時にはうがい、手洗いを徹底し感染予防を行って下さい。

## 職員募集

社会福祉法人博愛会では介護職員・看護職員を募集しております。勤務地は更別村、帯広市、幕別町です。介護職員は原則的に介護福祉士またはヘルパー2級の取得が条件ですが、現在、無資格の方で将来、資格の取得を考えている方も条件によっては可とします。興味のある方は担当：施設長 村上（0155-20-4567）までお問い合わせください。



## ご寄付ありがとうございました。

### さらべつ

#### 【物品】

穴田 昇隆様  
小丹枝 多恵子様  
匿名4名

#### 【金銭】

細川 ツル子様  
渡部 タマ様  
松橋 朝子様  
【食品】  
山角 千恵子様  
若園 芳一様  
西川 克子様

### おびひろ

#### 【食器】

八ツ井 節子様  
【衣類・リングブル】  
荒井 洋子様

## 募集しています

いつも皆様からご厚意をいただき、大変感謝しております。引き続き以下の物を募集しておりますので、皆様のご協力よろしくをお願いします。

- ◆さらべつ◆ 除雪機・使用済み買い物袋・ウエス生地・ソファ
- ◆おびひろ◆ 除雪機



## 新入職員紹介

### ◆コムニの里さらべつ



古田 喜志子

平成24年11月20日 採用  
介護員(小規模)



近藤 卓也

平成24年11月1日 採用  
介護員(特養)



尾崎 まゆみ

平成24年10月10日 採用  
介護員(小規模)



森永 ゆかり

平成24年11月1日 採用  
介護員(小規模)



遠藤 めぐみ

平成25年1月1日 採用  
介護員(小規模)

## 編集後記

明けましておめでとうございます。自然災害、衆議院解散等、激動の平成24年も終わり平成25年がスタートしました。今年は5月にコムニの里 まくべつが開設し新しい仲間が増えるためより一層、社会福祉法人博愛会を盛り上げていきたいと思っておりますので今年もよろしくお祈り致します。

## 2013年に向けて

コムニの里さらべつ総合施設長 村上 道隆

皆さん、新年明けましておめでとうございます。

昨年は、高橋北海道知事が十勝視察の訪問先に、北海道福祉のまちづくり賞を連続で受賞した社会福祉法人博愛会のコムニの里おびひろを指名されるという光栄な年でした。また、幕別町の地域密着型サービス事業所の公募にも選定され、これも一重に更別村を起点に「地域に根差した施設作り」が評価された結果だと思えます。

12年前の巳年は、2000年4月介護保険法が施行された翌年で、老人福祉施設も「措置」から「介護保険」への切り替え時期で、各事業者が戸惑いや期待の年でした。それから干支も一回りし、「介護保険」にも慣れた2度目の2013年の巳年は、当法人創設5周年の年であり、地域密着型介護老人福祉施設及び小規模多機能型居宅介護事業所の3拠点目が幕別町に5月1日に開設する飛躍の年でもあります。職員数も3市町村の「コムニの里」で160名を超える大所帯になります。

介護保険制度が見直しをされる度に経営は厳しくなりますが、介護報酬は良いケアを行えばそれに見合った報酬になってきています。そのため本年も法人をあげて職員のスキルアップとご利用者の期待に応えられるよう運営してまいります。また開西病院を中心とする医療法人社団と連携をとりながら、博愛会グループで福祉と医療の両面から地域を支えていくよう努力していきます。



## コムニの里まくべつ 準備進んでいます

今年5月、幕別町旭町に開設する予定の『コムニの里まくべつ』ですが、開設に向け順調に準備が進んでいます。3月末に完成予定の建物は、近々足場がとれ、いよいよ外観が姿を現す予定で準備は大詰めにはさしかかりました。

2月には開設準備室がコムニの里おびひろ内に立ち上がり、本格的に利用者や職員の募集が始まります。幕別の施設が開設するまでは、お問い合わせはコムニの里おびひろ（帯広市東9条南13丁目2-4、Tel.20-4567）までご連絡ください。





## ボランティアコンサート

12月1日にピアノコンサート(小本ピアノ教室)がありました。子どもたちは素敵なドレスを着て日ごろの練習の成果を披露してくれました。利用者様・入居者様も子どもたちの一生懸命な姿に手拍子や笑顔で答えていて、最後には懐かしい童謡にあわせて歌、手遊びをして一緒に楽しい時間を過ごしました。



## ライオンズクラブ慰問

昨年に引き続き、更別村ライオンズクラブの慰問事業がコムニの里へ来てくれました。

「五島エミさんと松島真理子さんの歌謡ショー」。昔なつかし「二輪草」「二人酒」「恋の季節」「孫」などメドレー曲を合わせて10曲ほど披露いただき、利用者様・入居者様はマラカスをもってリズムに乗って、大変もりあがりました。なかには涙を流している姿もあり、とても大切な時間を過ごさせていただきました。

いつでも口ずさめる歌は良いものですね。。。



## クリスマス会

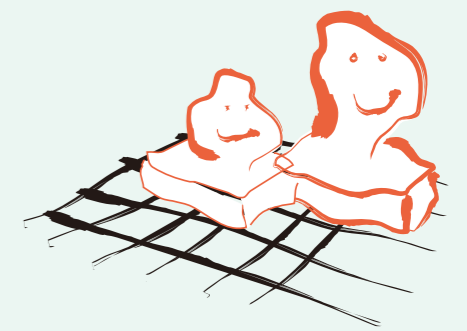
12月21日クリスマス会が開催されました。今年のクリスマス会は二人のサンタ(施設長・介護係長)が入居者様、利用者様にプレゼントを配りにやってきました。

皆さん、職員が選んだプレゼントを見て「これいいわ」「こんなの欲しかったの」等の声が聞かれ笑顔がみられていました。慰問にはノルドエコーの皆様と聖歌隊による歌と演奏が行われ、すばらしい歌声と演奏に酔いしれクリスマスの雰囲気を楽しんでおられました。また入居者様と職員でいろいろなゲームも行いたくさん笑い今年、最後の行事が終了しました。また来年も皆様により一層楽しんでいただける企画を考えていきたいと思ひます。



## 新年会

1月9日に新年会が行われました。今年は地域の方にもお手伝いに来ていただき、入居者様、利用者様、職員と一緒に餅つきを行いました。大きな掛け声と共に「ペタン」と餅をつく音が会場に響き渡り、入居者様、利用者様からは「早く食べたい」との声が聞かれていました。つき終わったお餅は厨房職員と入居者様、利用者様で味付けを行い、ユニット内で美味しくいただきました。



## もちつき大会

12月28日に毎年恒例のもちつき大会を行いました。午前中は小規模多機能と通所介護事業所の利用者様計25名、午後は特養入居者様と村内にあるグループホーム元気の里さらべつの入居者様計40名が参加しました。

大人数の餅ですので、職員や利用者様の有志の方が代わることができる餅をつきましたが、若い職員は腰がフラフラ、音はパチンと小さな音でしたが、利用者様がつく経験の差が物をついたのか力強い音が響き、年越しにふさわしい賑やかなもちつきになりました。

ついた餅はその場であんこやおろし醤油にあえ、召し上がっていただきました。皆さん、昔を思い出し、とても喜んでくださいました。



障がい者日中活動支援事業

## サッチャル館より 「ふれあい広場inさらべつ」に 参加しました!

11月25日、更別村社会福祉協議会主催の「ふれあい広場inさらべつ」で販売体験を行いました。

サッチャル館の畑で収穫した黒豆を香ばしく炒って作った「黒豆茶」は50gずつに分けて包装しました。(写真)

一針一針、ていねいに刺繍した布きんは「可愛い〜♪」と言っていたいただき予定より早く完売!買ってくださいました。本当にありがとうございました。



## 市民活動プラザ 六中 訪問

11月16日に施設で集めていた「割りばし」と「リングプル」を近所の「市民活動プラザ 六中」に入居者様と一緒に届けに行きました。ペレットストーブの材料となる「割りばし」が約2500本、車椅子と交換が可能な「リングプル」が約5kg集まり、これからも施設全体で集めていき地域のために貢献していきたいと思ひます。

